



フォーサイド グループ 2020年12月期第1四半期 決算説明資料

補足説明資料



2020年12月期第1四半期 連結業績ハイライト

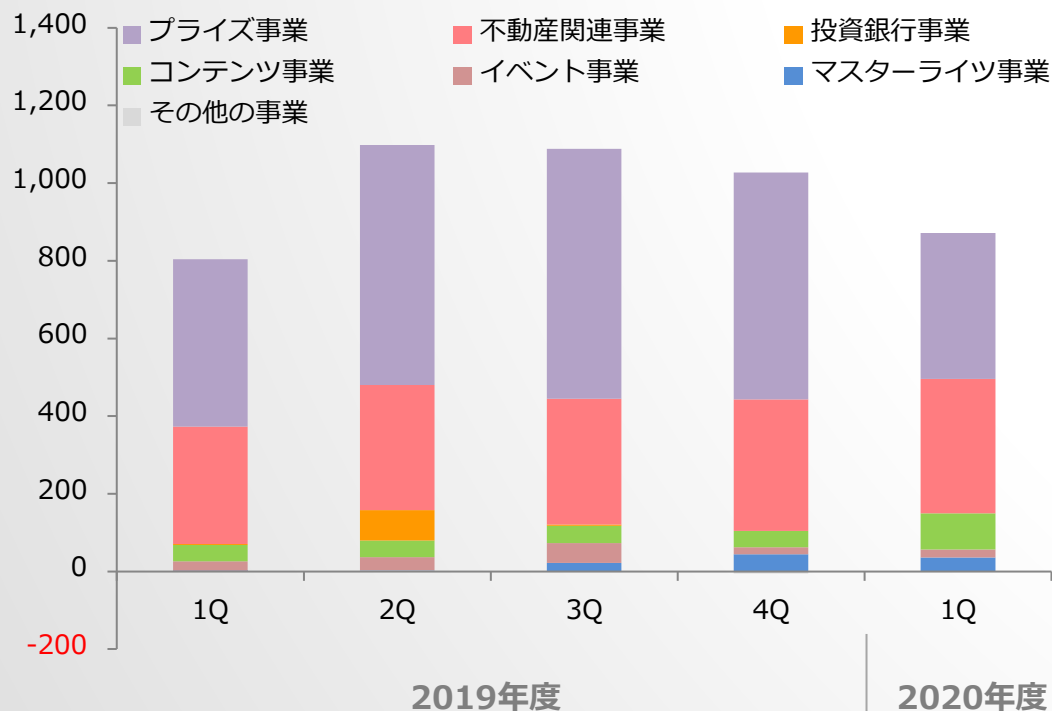
(単位：百万円)

	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年比	主な増減要因・傾向
営業収益	808	874	108.3%	2020年12月期第1四半期においては、プライズ事業、不動産関連事業がグループ全体を牽引し、音楽関連事業、映像制作事業等による収益の多元化が進む。一方、3月以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、販売計画の実行及び営業活動の減速が余儀なくされたことから、グループ全体の営業収益は前年比108.3%、営業総利益109.0%となった。 一方、投資銀行事業での案件が成約にいたりず、また、グループ全体の販管費を営業収益で補うことができなかったこと等から、営業利益の確保にはいたらなかった。 また、固定資産及びのれんの減損損失、貸倒引当金繰入額並びに投資有価証券評価損を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損益は、前年比で大幅に悪化した。
営業総利益	357	389	109.0%	
販売管理費	425	495	116.4%	
営業利益	△67	△105	—	
経常利益	△58	△66	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△169	△344	—	

営業収益は堅調に推移したものの、営業利益の確保にいたりず
多額の特別損失を計上し、純利益は大幅な赤字に

営業収益の成長推移

(単位：百万円)



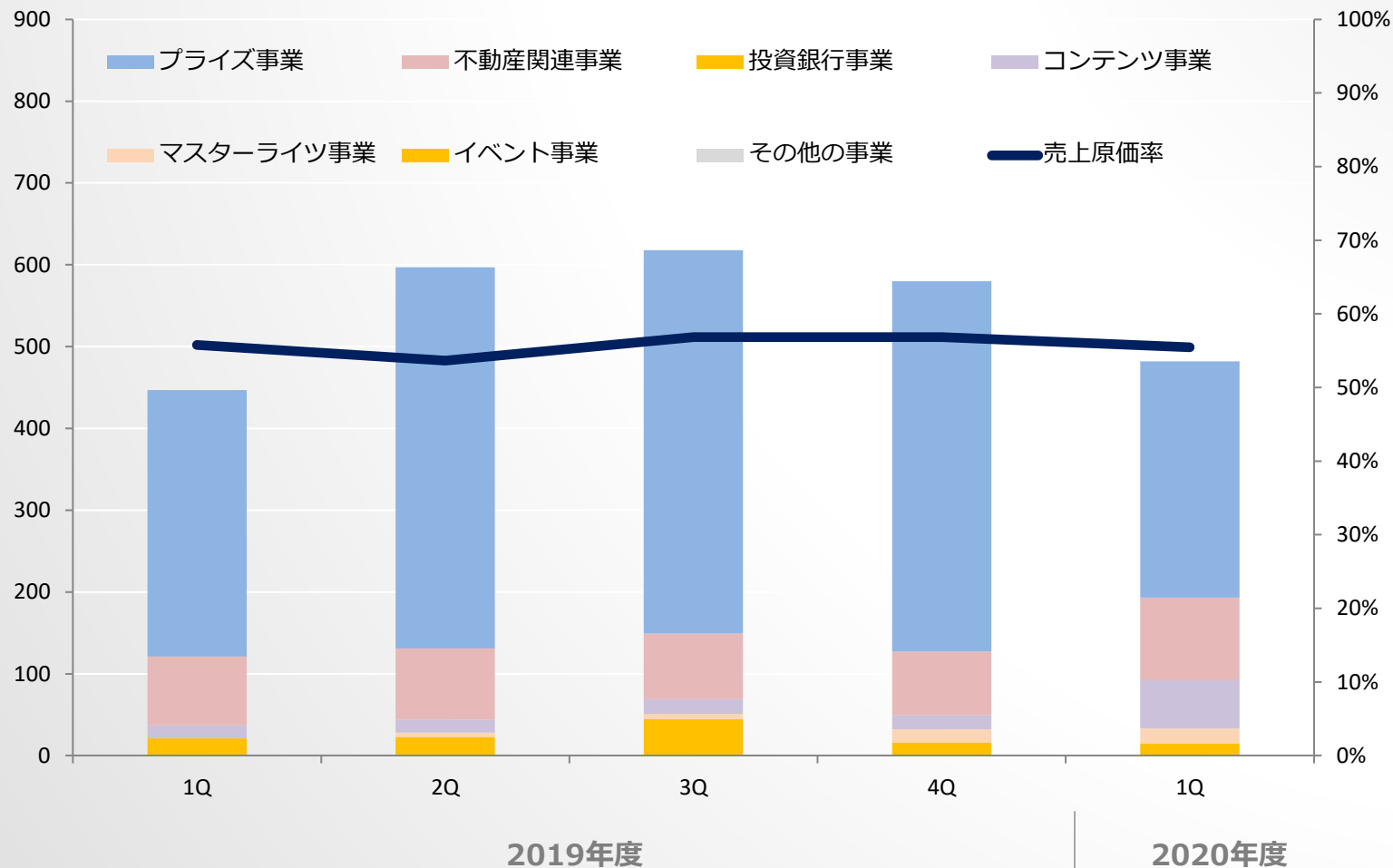
プライズ事業・家賃保証事業が牽引
3月以降はコロナウイルス感染症拡大により、
営業活動が減速

セグメント別の主な増減要因

プライズ事業	※プライズ事業では、期初より堅調に推移していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、アミューズメント施設の休業や営業時間の短縮が行われ、取引先に対し販売活動が行えず、3月以降は影響が出始める。
不動産関連事業	※不動産関連事業では、新規獲得件数は好調に推移。一方で、貸倒引当金繰入額が増加したこと等により、セグメント利益の確保にいたらず。
投資銀行事業	※投資銀行事業では、期初より進捗に遅れが生じ案件成約にいたらず、セグメント利益の確保にいたらず。
コンテンツ事業	※コンテンツ事業では、費用対効果を重視したプロモーション施策を継続し利益を確保。一方で、当第1四半期連結累計期間より、映像制作事業を譲り受け、ミュージックビデオ等の制作を開始。売上は増加したものの、初期コストや販管費を補うまでにはいたらず、セグメント全体での利益の確保にいたらず。
マスターライセンス事業	※マスターライセンス事業では、所属するタレントのライブ活動・音楽配信・関連グッズ販売に注力する一方、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いくつかのライブが中止となり、活動に影響が出始める。出版事業においては、雑誌の販売部数を伸ばすためのSNSでのプロモーションに注力するも、各種費用を補えず、セグメント利益の確保にいたらず。
イベント事業	※イベント事業では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いくつかのイベントにおいて中止や延期が生じたことにより、想定した売上を上回ることができず、セグメント利益の確保に至らず。
その他の事業	※金融事業では、貸付金の回収に注力し、販売管理費用の抑制に努めたことで、セグメント利益の確保。

原価の推移

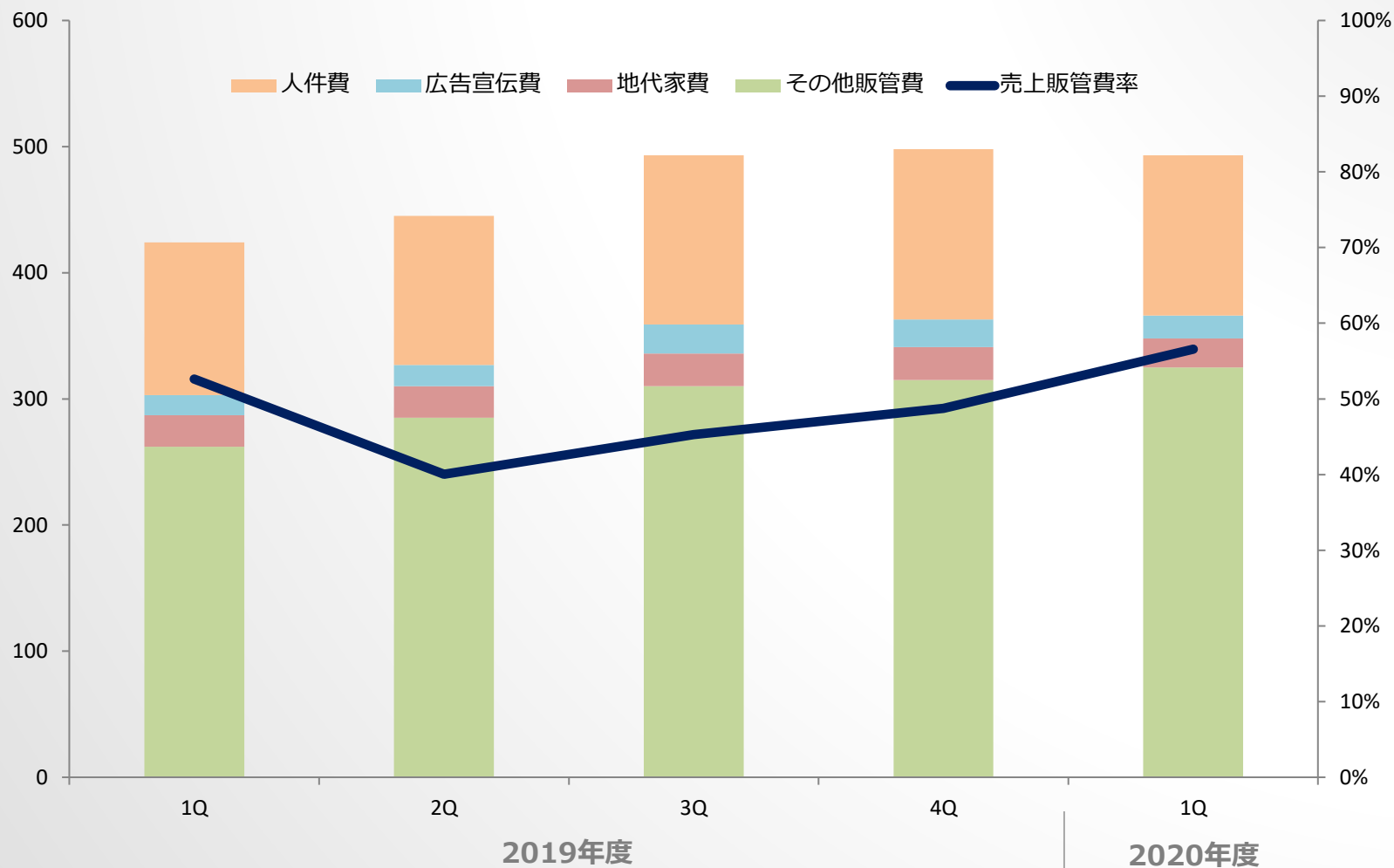
(単位：百万円)



各事業において継続的なコストコントロールを実施
映像制作事業の開始により、売上連動原価が増加

販売管理費の推移

(単位：百万円)



事業拡大により、販売管理費全体が増加
コスト管理の更なる見直しを図る

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2019年度 12月期	2020年度 第1四半期	増減金額	主な増減要因・傾向
資 産	3,687	3,288	△399	資産については、のれん及び投資有価証券の減少317百万円等により、前年度末に比べ399百万円の減少となった。
負 債	2,262	2,232	△29	負債については、借入金の減少80百万円等により、前年度末に比べ29百万円の減少となった。
純資産	1,425	1,055	△369	純資産については、親会社株主に帰属する当期純損失344百万円等を計上したことにより、前年度末に比べ369百万円の減少となった。

(注) 2020年5月15日現在、発行済株式総数は32,557,704株、資本金は1,432百万円、資本準備金は1,973百万円です。

当期純損失の計上により、純資産が大幅に減少



2020年12月期の業績見通し

2020年12月期の業績見通し

2020年12月期通期における当社グループの業績につきましては、当第1四半期はプライズ事業、不動産関連事業が期初よりグループ全体を牽引し、音楽関連事業、映像制作事業等による収益の多元化が進んだことで、堅調に推移しておりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大及び緊急事態宣言の発令後、アミューズメント施設の休業に伴うプライズ用景品の販売延期や音楽関連事業におけるライブ活動の自粛、映像制作事業における撮影の自粛等、営業活動の減速を余儀なくされている状況であります。

また、不動産関連事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響による雇止めや所得の減少等により、今後入居者の賃料滞納が増加することで代位弁済立替金や債務保証損失引当金の増加が予想されています。

一方で、今後の新型コロナウイルス感染症の収束状況や行政府による規制対応等によっては、改善の可能性は十分にあるものの、現時点ではその影響額を正確に把握することは極めて困難であることから、2020年2月14日に公表した業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただくことにしました。

なお、業績予想の開示につきましては、予想の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。



参考資料（グループ概要）

フォーサイドグループ概要

会 社 名

株式会社フォーサイド (持株会社)



所 在 地

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階

設 立 日

2000年3月31日 (2002年10月10日 JASDAQ上場 証券コード2330)

資 本 金

1,432,534,136円 (発行済株式総数32,557,704株)

経 営 陣

代表取締役 根津 孝規 取締役会長 泉 信彦 常務取締役 飯田 潔
取 締 役 吉田 生喜 取 締 役 濱田卓二郎
常勤監査役 法木 右近 監 査 役 田辺 一男 監 査 役 瀬山 剛

顧 問

法律顧問 TMI総合法律事務所

事 業

- ・株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等
- ・投資銀行業務

主な子会社

- ・(株)ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・制作・販売/イベント企画・運営
- ・日本賃貸住宅保証機構(株)：賃貸家賃保証/不動産仲介売買/賃貸管理事業
- ・(株)モビぶっく：電子書籍配信事業/スマートフォンアプリ配信事業
- ・フォーサイドフィナンシャルサービス(株)：M&Aのアドバイザー業務
- ・フォーサイドリアルエステート(株)：不動産投資事業/不動産販売事業/管理事業
- ・(株)マーベラスアーク：音楽関連事業
- ・フォーサイドメディア(株)：出版事業、映像制作事業



—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他情報通信関連事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。